

「あたたかいココアみたいな映画」

——— 鳥の声翻訳家

「ラジオを買って帰ります。

月の声が聞こえるかもしれないから」

——— 地下街団体職員

【題名】 空から降る

【監督・脚本】 落田とけい

【音楽】 sandgrass

【出演】 永井ヨル・君戸紀久

猫野 聲・青井 雫・KANA

志位 心・飛部 いつか・

百々久 奏多

【上映場所】 郭公時計工場

【あらすじ】 子供の頃は眠れ

ない夜が不安だった。ひと

りだけ、おいてけぼりにさ

れたみたいで。いつからだ

ろう、朝が来なければいい

と願うようになったのは。

赤信号を待つテフコの前に、

空からきらくめくものが落ち

てきた。その時、街中の人

の耳に「アッ」という声が

響いた。きらめく何かは、

時速六〇kmで走る軽自動車

に轢かれた。テフコの靴に

歯車の欠片が当たった。風

が止まった。風だけではな

い。星がまたたきを止めた。

猫が神様の時計を落とした

のだ。時間が止まり、誰も

が命から抜け出して自由にな

った。朝を恐れずに本を

読み、犬と遊び、隣人とト

ランプに興じ、大切な人の

声を聞いた。テフコはお湯

に冷たい足を浸し、ほっと

息をついた。亡くなった猫

を思い出す。いたずら好き

のあの子が、好きそうな夜。

そう考えて、涙がこぼれる

と、こり固まった何かが少

しだけ和らいだ。

【メモ】 立ち止まりたい時

だつてある。神様の時計を

落とした猫は、それを知る、

賢くて優しい子。(文・ハナ)

『裏町映写室』はタロとハナの二人組による、映画館を持たない裏町を舞台にした上映活動である。ふたりの夢は、いつか裏町に映画館をつくること。今は、裏町のいたるところ……裏町魚座館、赤煉瓦ビルジグ探偵事務所、裏町百鬼園広場、蜜蜂集合住宅中庭、甘味処月の海など……に臨時スクリーンを設ける。ふたりが好むのは『架空映画』だ。おそろしく短い一瞬の炎のような映画、男の一生を記録しつづけた長すぎる映画、現実と夢の境のぼやける映画。奇妙で不思議な架空映画を、彼らは住人たちに紹介している。

空から

降る

11.20

秒針がひとつ。
ちいさな歯車がひとつ。
アッ、という、かすかな声がひとつ。
夜空から落ちて、車に轢かれた。
「狂った時間の影響で夜が延長されます」
「神さまが急ピッチで修復中です」
ラジオから流れるニュースに、ゆっくりで
構いませんよ、と話しかけたのは、ひとり
やふたりではない。

永井 ヨル グッドナイト賞主演女優賞

君戸 紀久 | 猫野 聲 | 青井 雫 | KANA | 志位 心 | 飛部 いつか | 百々久 奏多 |

監督・脚本 | 落田とけい

第7回ペーパーウェル 架空映画祭参加作品 | 配給・おはなしの喫茶室
twitter@ohanasi_cafe <https://www.kakura-ohanasicafe.com/>

